

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	高等学校定時制課程給食事業				事業番号	038-088	
担当部署名	教育委員会事務局	局	学校管理部	部	学校給食課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	—		施策	—		
			無	取組の方向性	—					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—			目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		ターゲット	4.1		
			有	取組	総合的な学力の育成					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—			目標値	—	

2	関連計画			
3	事業開始年度	昭和 32 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	堺市立堺高等学校定時制課程の生徒70人（R7.5.1 時点）				対象数	単位
						70	人
7	事業の目的	高等学校定時制課程で学ぶ生徒の健康保持と修学支援のため。					
8	事業内容	高等学校定時制課程生徒に、夜食として牛乳とパンの補食給食を無償で提供する。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	堺市学校給食協会					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	アンケート調査による満足度	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	73	94		
			達成率	73%	94%		
	当該指標を選定した理由	修学支援という目的への貢献度を、生徒の満足度の観点から図るため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	補食給食を高い頻度で食べている生徒のうち、授業を受ける上で役立っていると答えた生徒の割合					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	給食実施日数	日	目標値	154	153	138	
			実績値	154	153		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	事業の活動状況を端的に示すため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	給食実施予定日を設定					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	高等学校定時制課程給食事業	事業番号	038-088
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費 (a)	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
	事業費 (a)	590	642	774	452	875
13	財源内訳					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（物品売払収入）	25	56	15	65	24
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	565	586	759	387	851
14	人件費 (b)	810	810	840	840	870
15	年間経費 (c)=(a)+(b)	1,400	1,452	1,614	1,292	1,745

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源
		R7	R8				R7	R8		
16	学校給食運営業務	決算	予算	452	387		決算	予算		
				828	804					
	廃棄物処理・運搬等委託料	決算	予算	0	0		決算	予算		
				47	47					
		決算	予算				決算	予算		
		決算	予算				決算	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和6年度	令和7年度
① 堺高校定時制課程の生徒（毎年度5月1日現在）	人	76	70
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,452	1,292
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	19,105	18,457
算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	世界情勢等による原料費（小麦）・輸送コストの価格上昇が大きいものの、発注量の精査を行い単位当たり経費は減額となった。引き続き発注量の精査を実施する。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	本事業は、「夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律」に基づき、夜間課程において行う教育を受ける生徒に対し実施しており、補食給食を提供することで、授業直前まで就労等を実施しながら通学していることの多い定時制課程に学ぶ生徒の空腹による学習意欲の低下を防ぐことに寄与し、修学支援に一定の効果をあげている。また、補食給食を高い頻度で食べている生徒のうち、授業を受ける上で役立っていると答えた生徒の割合も令和7年度は上昇した。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	「夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律」により高等学校定時制課程が存在する限り当該事業は必要である。なお、補食給食の受益者負担については、府立高校定時制課程や大阪府内他市の公立高校定時制課程の状況を踏まえて検討する。
	有効性	■ 高い □ 低い	